



かぞく道徳のご協力ありがとうございました

11月下旬は、「かがやき月間」ということで、道徳で学習したことをもとに家族で対話をしていただく「かぞく道徳」の取り組みがありました。ご家庭での対話後に、「お家の人から」という欄にたくさんの返信をしていただき、ありがとうございました。とても有意義な時間になったのだと思います。

かぞく道徳の「お家の方から」の感想を一部紹介させていただきます。

1年・・・「これならできる」

くつならべありがとう。かぞくのためにできることをがんばってくれて、とてもうれしいです。お母さんも、〇〇ちゃんやお姉ちゃんのためにできることをがんばるね。

2年・・・「くいのみ」

自分をまもるための嘘をついてしまうのは、大人でも子どもでもあることだと思います。正直に話せる強い心、困っている人がいたら迷わず手を差し伸べられる優しい心を育み、大人になってからも、いつも忘れずにいてほしいです。

3年・・・「なんだろう なんだろう」

同じ「本当ではないこと」でも、相手のことを思いやってみるものは冗談や楽しいおはなし、いわゆる優しいうそとして受け入れられるのではないのでしょうか。自分の利益や保身を優先してしまうと、相手の信頼を裏切ったり、心を傷つけてしまったりする「うそ」になるのだと思います。いつでも正直でいることはとても大変かもしれませんが、でも、だからこそ自分以外の人の心を思いやり、正直に生きていくことを大切にしたいですね。

4年・・・「いじりといじめ・とびぼこ」

“みかさん”や、“かずまくん”は、勇気があってすごいね。みんなと同じことをするのは簡単だけど、自分の思ったことをはっきり言うのは難しいし、勇気がいるけど、相手の気持ちを思いやれる人になってほしいなと思います。

5年・・・「お客さま」

子どもを肩ぐるまをしてまで、パレードを見せてあげたい気持ちはわかるけれど、他の人のことも考えての行動は必要だと思いました。自分さえ良ければいいという考えではなく、周りのことも考えないといけないので、前もって時間の使い方を工夫すべきだったのではないかなと思いました。

6年・・・「ロレンソの友だち」

今後の友だちとの付き合い方で悩むことだと思います。悪いことは悪い、僕はできない、と言える勇気が必要です。悪いことはダメだと言った友だちをきちんと認めることができる人になってほしいです。



6年生「ロレンソの友だち」より

ミントの会「クリスマスリースづくり」ワークショップ

地域ボランティアのミントの会の方々による「クリスマスリースづくり」が、9日(月)、10日(火)のお昼休みに、図書室で行われました。たくさん子どもたちが集まり、思い思いの楽しいリースを作製していました。ミントの会の方々には、事前の準備等、大変だったと思いますが、子どもたちの生き生きとした姿を温かく見守っていただきまして、本当にありがたく感謝いたしております。

